

(別紙4-1)

危険性が確認された構造計算書偽装物件(マンション)に係る居住者の退去状況等^(注1)

(平成18年4月10日17時現在)

	総入居戸数 ^(注2) (当初)	うち退去済	うち入居中			
				4月30日までの退去予定	5月1日以降退去予定又は退去日未定	その他
分譲 (11棟)	309戸	<u>282戸</u> (+2)	<u>27戸</u> (-2)	<u>11戸</u> (+4)	10戸	<u>6戸</u> (-6)
賃貸 (7棟)	197戸	195戸	2戸	0戸	1戸	1戸
計	506戸	<u>477戸</u> (+2)	<u>29戸</u> (-2)	<u>11戸</u> (+4)	11戸	<u>7戸</u> (-6)

(注1)「危険性が確認された構造計算書偽装物件(マンション)」とは、 Q_u/Q_{un} (保有水平耐力/必要保有水平耐力)値が0.5未満であり、震度5強程度の地震で倒壊するおそれがあるものをさす。

(注2)空室を含めると、総戸数は分譲332戸、賃貸213戸の合計545戸